

そらのとり



岩見沢聖十字幼稚園
園だよりNo. 11
2026年2月24日発行

2月の聖句

「どんなことにも感謝しなさい」
テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5:17

毎日の生活には、うれしいこともあれば、思い通りにいかないこともあります。子どもたちも、楽しく遊べる日がある一方で、けんかをしたり、泣いてしまったりすることがあると思います。聖書には「どんなことにも感謝しなさい」という言葉があります。これは、すべてがうまくいくから感謝しなさい、という意味ではありません。うれしい時だけでなく、困った時や失敗した時にも、そこに支えや学びがあることに目を向けてみよう、という招きです。子どもたちは、周りの大人の姿をよく見ています。「ありがとう」と言葉にする姿、誰かを思いやる姿は、子どもたちの心に自然と伝わっていきます。小さな感謝を大切にしながら、共に歩いていけたらと願っています。

チャプレン 司祭 クリストファー 永谷 亮

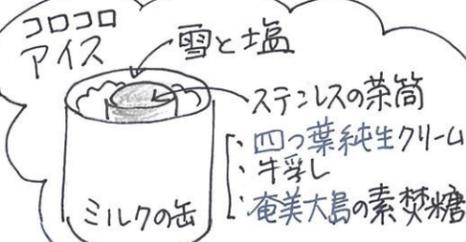
雪の中のおたのしみ

冬は寒いけど、寒い雪の中であったかい飲み物や甘くておいしいものをみんなでおしゃべりするのは楽しいものです。子どものときの楽しい思い出のひとつですね。

今年も年長さんが「おいしいもののために!」とかまくらを作っていました。でも言葉録的な雪の少なさにかまくらもちおと小せめ...



ミニかまくらの中で小さくおしゃべりしているお友だちもいますよ!



ラーメンの味は毎年、年長さんに聞いて決定。今年は「しょうゆ!」「しお!」と意見が分かれましたが、あるお友だちが「まぜたらいいんじゃない?」とNICEな意見をいって、ネーブルのおしょうゆ味に。



こんあき映画館!

直談判!

こんとあきさんは、クリスマス会の劇チームが発表した「どろぼうがっこう」のお話がみんな大好き!先生はDVDを購入。子どもたちは大喜びで「みんなごみよう!!」と目をキラキラさせています。

「でもどうやって?」と聞くヒ、出てくる出てくるアイデアが!「ひろめきのおへやは映画館みたくなるよ!」「この前、映画館行ったときホッポコンパレたよ!」「チケットもいるね!」「イモ並べようよ!」...初めの試みは園長先生に許可をもうおう!...「どうやって聞きはいる?」うーん...「みんなで行こう!」うーん...「毎日1人ずつ行ったらいいんじゃない?」うーん...「お当番さんが言いに行こう!」「みんな?手紙を作ろう!」



大笑いのソリ遠足

2月20日、萩の山スキー場でぐりとぐらさんのスキー遠足でした。



私自身の子育ては、手抜きや人任せも多く、恥ずかしくてとても皆さんに語れるものではありませんが、そんな私を助けてくれた強い味方やツールは、自信を持ってお伝えできます。

ひとつめは、ぜんそくや鼻炎を防いでくれた「高密度織木綿ふとん・カバー」...ダニのふんすら通り抜けない高密度織の木綿でできたふとんやカバーです。母子入院するほどの重度のアトピーだった長男も、1日2箱ティッシュを使っていた鼻炎の私もこれで薬から解放されました。

もうひとつは、「桶谷式母乳マッサージ」です。乳腺炎で手術をしたりして何か月も止まっていた母乳を復活させてくれて、母乳には痛いマッサージや手術はいらないと教えてくれ、白く濁った冷たい母乳から、青白く透明なあたたかい母乳にサイクルを変えてくれた助産師さん由来の素晴らしい技です。

きっと皆さん、体験的に自分のお助けツールを持っていますよね。悩み別に交流出来たらいいですね。